

積極的に異文化を学び交流



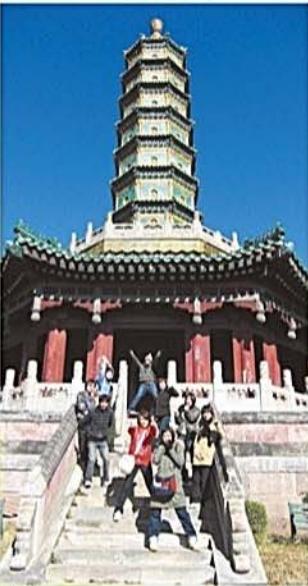
アメリカ



カナダ



ロシア



中国



韓国

CONTENTS

2・3面

海外派遣奨学金授与式と壮行パーティー
5コース代表が意気込み披露
ノースウェスト・ミズーリ州立大から表敬
ロシア語スピーチコンテストで大活躍

「地域言語の会話サロン」スタート

4・5面

図書館でブラウジングを
本学の就職指導の特色
日本経営システム学会を開催
情報システム学会2代目会長に竹並教授

教員の活動(2009年上半期)

6・7面

私の研究テーマ
平成21年度入試日程概要一覧
オープンキャンパス案内
映画「チョコラ！」で特別講義

湧源・編集後記に代えて

8面

社会貢献でボランティア体験
スポーツ大会を終えて
成績、課外活動優秀者に表彰奨学金
卒業生の便り

派遣留学

夏期セミナー

留学する学生の壮行会があり、

言語習得において「どのように

情報システム学科の夏期セミ

ださい。事前にエドモントンを

渡航大学別に代表挨拶があった。

話すか」は「何を話すか」とがつ

ナーは、平成12年に開始され、今

Google Earthなどで下調べをし、

それぞれの意気込みを真摯に語つ

ちり結びついている。話すべきも

年はちょうど10回目の節目の年に

日本や新潟の情報を準備してください。

ていたが、共通していたのは「ネ

イティブと会話できるようになり

大学を調査し、語学教育、情報産

能な限り多くのことを吸収してき

たい」ということだった。そのあ

と学科長として私が話をした。

業、安全性などを考慮して、アル

べきだ。だから必要なのは、話すべき

こういうとき「嫌われキャラ」

内容を頭に詰め込むことであり、

大学で参加者が減つ

た年などもありました

をついつい演じてしまうのだが、

自分からがらんがん

や、インフルエン

の代表であり、日本

このときも正直なところを話した。

「ネイティブと話

情報文化学科長

カナダやこれら

をしたいと言うけれど、そもそも皆さんは議論する

れば、ちまちました文法や単語の一

の国々の文化を理解するととも

に、日本や新潟もアビールしてください。

という習慣を持っているのか。ここにいる全学生が毎回のゼミで自分が発言しているのか。どうでもいいおしゃべり以外、他者と意見交換する習慣がないのに、母語でもない言語でどうやって会話するのか」とまくしたてた。これは以前から本当に不思議に思っていたことである。

ば、ちらさえ身に付けた年などもありましたが、大きな行事の一つとして

したが、大きな行事の一つとして着実に根付いており、将来は2割3割の学生が参加することを期待します。

研修先のエドモントンはオイルサンドなどで活気があり、人々は大変親切です。日ごろの行動力を生かし、日本人だけで集まらず、大学や町の中に積極的にとけ込んで、文化的の違いを体験してきてく

情報システム学科長
近藤進

留学プログラムの成果を確認

提携大学、アメリカコリエリ州立大学から、国際交流センターのディレクターで ESL (第2言語として英語を学ぶ機関) 責任者のジェフリー・フット先生が4月7・8日の両日、本学を訪問されました。

初日はまず平山征夫学長を表敬され、アメリカコリエリ教授、矢口裕子准教授も交えて、今年9月には情報文化学科派遣留学生の成績を確認す

ノースウェスト・ミズーリ州立大 J・フット先生が本学訪問



るとともに、今後のいっそくの発展へ向け意見を交換しました。話題はアメリカ

の新オバマ大統領や、日本の経済状況にまでおよびました。その後、昨年の留学参加学生の案内でも本学を見学、さらに弥彦神社などを訪れ、同夜は越智敏夫情報文化学科長や担当教員らと一緒に懇談されました。翌8日には新入生合宿研修に参加、新1年生と食事をともにしながら、留学プログラムとノースウェスト・ミズーリ州立大学を紹介、アメリカでの生活と学修について説明されました。新入生たちは目を輝かせながらフット先生のお話を耳を傾け、これから始まる大学生活への期待と決意を新たにしていました。

6月20日、クロスバル新潟にて第9回ロシア語スピーチコンテストが行なわれました。このコンテストは市内の大学、市民友好団体、ロシア総領事館、新潟市国際交流協会の関係者によって組織・運営されているものです。本学の学生は例年このコンテストに参加し、高い成績を残しています。

今年も7人の学生が参加し、優れた結果を挙げることできました。

は進藤愛さん(情報文化学科2年)が、美しい発音と立派な受け答えで、見事に1位入賞を果たしました。また一般

の部(3分間の自由スピーチ)では、溝口司さん(情報文化

入門の部、チャレンジの部で優勝

ロシア語スピーチコンテスト

主催 ロシア語スピーチコンテスト実行委員会



ロシア語スピーチコンテスト

学科3年)が健闘し、3位入賞を果たしました。溝口さんは派留学制度により4カ月は派留学制度により4カ月ウラジオストックでロシア語を勉強していました。今回のスピーチも、留学中のロシア

に切さを知ったというもので、自然な口調が高く評価されました。そしてチャレンジの部(5分間の自由スピーチ)では、菊池諒さん(情報文化学科4年)が、見事に1位入賞を果たしました。菊池さんのスピーチは、「歴史上最も魅力的なロシアの男は誰か?」と題するもので、トルストイの「戦争と和平」の主人公の一人、アンドレイ・ボルコンスキイこそが、ロシア人の民族性を表現している点でそう呼べるのではないか、というものでした。

チャレンジの部は例年同様水準の高い発表がありましたが、その中で菊池さんのスピーチは、力強い語りかけと何よりも優れて密度の濃い内容とによって、文句なしの1位入賞となりました。菊池さんは私費留学でロシアに学んだ経験があり、日ごろからロシア語とウクライナ語の勉強に勤しんでいます。今回の賞品であるウラジオストック・極東大学での1ヶ月の留学によつて、ロシア研究をいつそう深めることができます。今回の賞

平成21年度のスケジュール表(出発順)

国名/留学大学	留学期間	参加人数
カナダ アルバータ大学生涯教育学部	平成21年8月2日~ 9月6日(5週間)	情報システム学科 2年次学生 12人
アメリカ ノースウェスト・ミズーリ州立大学教養学部	平成21年8月24日~ 12月20日(約17週間)	情報文化学科 2年次学生 13人
韓国 慶熙大学国際教育院	平成21年8月28日~ 12月25日(約17週間)	情報文化学科 2年次学生 4人
ロシア 極東国立総合大学	平成21年8月30日~ 平成22年1月10日(約19週間)	情報文化学科 2年次学生 11人
中国 北京師範大学歴史学院	平成21年9月9日~ 平成22年1月12日(約18週間)	情報文化学科 2年次学生 6人
参加学生数合計		46人

海外留学・セミナー参加学生の累計

	中国	韓国	ロシア	アメリカ	カナダ	計
平成 7年度	29	14	7	13		63
平成 8年度	15	13	20	17		65
平成 9年度	31					31
平成 10年度			7	14		21
以上 海外研修計	75	27	34	44		180人
平成12年度	30				20	50
平成13年度	15	12	6	17	14	64
平成14年度	17	9	3	13	17	59
平成15年度	(中止)	4	1	11	6	22
平成16年度	31	7	2	13	8	61
平成17年度	18	13	5	12	22	70
平成18年度	9	5	0	7	3	24
平成19年度	16	10	12	25	9	72
平成20年度	9	7	9	12	13	50
平成21年度	6	4	11	13	12	46
計	151	71	49	123	124	518人
合 計	226人	98人	83人	167人	124人	698人

人と交友の中で「散歩」の大切さを知ったというもので、自然な口調が高く評価されました。そこでチャレンジの部(5分間の自由スピーチ)では、菊池さんのスピーチも、留学中のロシアは、アトラクションでは、本学国際交流インストラクターならびに環境サークルNUISEcoの学生有志によるロシアクイズが行なわれ、国際理解の推進に一役買いました。

46人参加 創設と意気込み披露

壮行パーティー

今年度の派遣留学(情報文化学科)海外夏期セミナー(情報システム学科)に参加する2年生46人の学生への奨学金授与式と壮行パーティーが6月17日、本校の大会議室と国際交流センターで開かれました。

今年度はカナダ・アルバータ大学へ12人、アメリカ・ノースウェスト・ミズーリ州立大学へ13人、韓国・慶熙大学へ4人、ロシア・極東国立総合大学へ11人、中国・北京師範大学へ6人が参加し、8月2日のカナダを皮切りに順次出発します。奨学金授与式では、各コースの担当教員から学生の名が呼ばれ、平山征夫学長からコースの代表者に証書が贈られました。

壮行パーティーでは、学長、学部長はじめ関係教職員などと学生たちが、テーブルを囲んで和やかに歓談、お互いに激励しあう活気あるパーティーとなりました。また、各コースの代表から決意表明があり、留学への期待と意気込みが披露されました。



皆で激励し合った壮行パーティー

奨学金授与式

留学生を招き、能力高める

6月から本校国際交流センターで

本校の国際交流センターで「地域言語の会話サロン」という催しが、6月24日からスタートしました。これは情報文化学科の地域言語教育の中から生まれた試みで、同世代のネイティブ・スピーカーと直接触れあうことで語学の運用能力を高めることと、新潟に住む留学生との交流を促進することを目的としています。

「地域言語の会話サロン」スタート

本校の国際交流センターで「地域言語の会話サロン」という催しが、6月24日からスタートしました。これは情報文化学科の地域言語教育の中から生まれた試みで、同世代のネイティブ・スピーカーと直接触れあうことで語学の運用能力を高めることと、新潟に住む留学生との交流を促進することを目的としています。

この催しは、語学の勉強の相談をするのもよし、また、テーマを決めてそれぞの国の言葉でのディベートに挑戦するのもいいでしょう。もちろん、このサロンでは原則的に日本語は使いません。同世代のネイティブ・スピーカーが話す言葉は、ネイティブの教員が授業で教えてくれる言葉と果たして同じなのか違うのか、違うとしたらどうが違うのか、自分で確かめてみる絶好の機会です。

(情報文化学科准教授 矢口裕子)

派遣留学海外夏期セミナー

校関係者の皆さま、アメリカでの生活について丁寧に教えてくれた先輩の協力を得て、ここまで来ることができました。留学先では、自分の目標を達成できるように努力していきたいと思います。その目標の一つは、語学力の向上です。今までの英語学習では、日本語を通じる友達や、片言でも理解してくれる先生方への力に少なからず頼ついたところがありましたが、一方、留学先では出身国のあるやり方や発音の違いがあり、英語によるやり取りは今までよりずっと難しくなるでしょう。ですが、これは私の本当の実力を知るいい機会だと考えています。なので、留学の4ヶ月間で、自分が今どの程度の会話能力を持つているのかを試し、さらに日常で話される言葉を聞き直さなくとも理解できるようになればと思つてます。もう一つの目標は、全く違う環境で生活することにより、自分自身を精神的に成長させることで

いざ5カ国へ

アメリカへ



情報文化学科
石橋 姫奈子

会話能力も 精神も鍛える

留学の準備を指導してくれた学生関係者の皆さま、アメリカでの生活について丁寧に教えてくれた先輩の協力を得て、ここまで来ることができました。留学先では、

ロシアへ



情報文化学科
進藤 愛

米ソ冷戦で 卒論書きたい

Здравствуйте!
Меня зовут Анисиндо!

ロシア語やロシア史概説を学んでいくうちに、ロシアについて、もっと勉強したいと思うようになりました。留学での最も大きな目標は、ネイティブスピーカーのようにロシア語を話せるようになることです。ロシア語を行つて勉めたといふらには、ロシア語を極めたといふらには、たぶん4人しか留学する人がいません。きっと向こうに行つてからです。そして、将来はロシア語を生かせる職業につきたいと考えています。

韓国へ



情報文化学科
後藤 春菜

貴重な体験を 励ましあつて

私たち韓国コースの学生は全員でたった4人しか留学する人がいません。最初は言葉もほとんどわからず生活も今まで私の経験したこ

うです。4ヶ月間の韓国留学を終えるころには「最高の留学生活だった!」と思えるようになります。そのためにはやはり勉強に対する努力が必要不可欠となると思うので、さまざまな体験をする中で、異文化理解の考え方を深めることができます。それでも新しい国なのですが、気候や文化が日本とは異なる点がたくさんあります。

留学までの今の2ヶ月間はもちろんのこと、行つてから4ヶ月、また日本に帰つてきてからも一倍努力をすることが必要だと思つています。

大学での中で貴重な4ヶ月間を無駄にしないよう、たくさん

経験をしてみたいと思います。

最後になりますが、今回の留学

す。アメリカには日本と異なる文化、価値観の人が大勢いて、生活様式にもたくさんのがあります。アメリカでの暮らしは文化の違う人々にいかに自分を理解してもらうか、また、相手を理解できることが重要だと思います。留学生活の中で、たくさんの人と触れるかが重要だと思います。留学生活の中でも、たくさんの人と触れ合いながらそれを学びたいと考えています。

卒業論文を書こうと思っています。ウラジオストックは軍港である都市ですので、空いた時間に調べてきました。アメリカの歴史や文化を知り、自分の知識とするため、極東大学で勉学を受けることです。私は二つのイデオロギーが世界を二分した米ソ冷戦について特に興味を持っており、について特に興味を持っており、そこで、とてもうれしく思います。

ロシアでは留学生としての自觉を持って勉強に励み、ロシアの人や他のさまざまな国から来ている留学生の人と積極的に交流をしたく思います。

ロシアでは留学生としての自觉を持って勉強に励み、ロシアの人や他のさまざまな国から来ている留学生の人と積極的に交流をしたく思います。

また、どうしても日本人同士で固まって行動しがちになってしまふと思うので、短い期間の留学だからこそ、恥ずかしががらず積極的に行動してもらいたいと思います。

中国へ



情報文化学科
大倉 美紀

お互いの国を 理解する醍醐味

1年生の後期から約1年間中国語と中国の歴史を学んで、私が最も関心を抱いていることは、中国と日本がお互いの国のこと

とをどう思つているかということです。

私はテレビのニュースを見てい

ると、日本のマスコミは中国の食

品問題やチベットの問題に対し

て、批判的に情報を伝えているこ

とが多いという印象を受けます。

このことは、多くの日本人が中國

のことをどうとらえているかとい

う問題にかかわってきます。

では、逆に中国人は日本人に対し

てどのような感情を持つているの

か、そう思つたことがきっかけで

中国への留学を決つてきました。

私がその目的を果たすのに重要なのは、やはり言語です。自分

と同じ世代の外国人と実際に

話をしたり聞いてみたりして意見

交換ができるのは、留学の一番の醍醐味だと思います。先生や新しくできた友人の言つていることが分かるなかつたり、自分の伝えたことをうまく伝えられなかつたり、悔しい思いをすることもあります。

私は、ネイティブの教員が授業で教

えてくれる言葉と果たして同じな

か違うのか、違うとしたらどこ

が違うのか、自分で確かめてみる

絶好の機会です。

カナダへ



情報システム学科
相澤 裕子

多くの出会いを 大切にしたい

私は留学するにあたり、3つの目標を設定しました。

それは、英語でのコミュニケーション能力を高めることです。

現在のよう授業で英語を勉強するのと、実際に英語で開まれた環境で勉強するのでは、やはり英語の感じ方・伝え方は全く違うと思います。

本場の英語に触れる

ことで、ネイティブ英語を身に付けていただけます。

二つ目は、出会う人々とのコミュニケーションを大切にすることです。

ニケーションを大切にすることです。カナダでは3週間ほどのボランティアがあります。

ホームステイ

、旅行などでは経験できません。

貴重な体験だと思います。

家族として接するホストファミリーと

は、親父を深めたいと思つています。

その他にも、さまざまな人々との出会いを大切にしたいです。

三つ目は、カナダの文化や生活

に関心を持つことです。

留学中に

はロッキー山脈へ行つたり、乗馬

やカヌー体験などもします。

カナダの自然を感じ

ことで、感性も深まるのではないか

と思います。

解けていない、と思つてしまつておく必要があります。

「知らなかつた」では自分自身も恥ずかしいし、日本人は歴史をあまり理解していない、と思つて見交換するにはお互いの国の歴史がある程度知つておく必要があります。

それが、さまであるが、こういう経験をバネに、中国語の学習に励むと

思います。

その他に私が中国へ行つて

思つてゐることは、世界遺産を

見に行くことです。

北京師範大学

の授業の一環として、今までには教科書や映像でしか見られなかつた

故宮や万里の長城などへ行く機会

があります。

その場所にはどうい

う歴史があつたのか、しっかりと

学んでから楽しんでみたいと思つて

います。

図書館が待っている!



図書館 基礎演習ガイダンス風景

ます。資料を見たりパソコンを利用する場所、瞑想する場所、グループ学習室での課外活動の場所としてなど、多様な目的に利用されています。

図書館はまず、教員の授業を支援し、学生の皆さん授業に対する関心を高め、その理解を深めるためにさまざまな業務を行っています。図書館の資料のほとんどは本学の教員が学生のために選定した資料です。例えば、指定図書（教員が選定した講義科目に関連する図書）、リザーブブック（課題のために読む資料）、学生に薦める本、就職活動や語学検定・資格取得関連の資料など、資料の拡充・整備を進めています。これらの資料は、検索のためにすべてデータベース化されていて、学内外のパソコンや携帯電話からの検索や予約処理が可能になっています。

本学の図書館は、情報センター棟1階にあり、図書は約1万冊、雑誌は約1500タイトルを所蔵しています。図書館は、読書や学習をする場所、視聴覚資料を見たりパソコンを利用する場所、瞑想する場所、グループ学習室での課外活動の場所としてなど、多様な目的に利用されています。

より深い情報や知識の道へ…ぜひブラウジングを

図書館では、基礎演習のクラスや卒論のテーマ別文献検索ガイド等の作成などのレポート作成のためには、図書館の利活用促進のためにさまざまなプログラムを用意しています。また、印刷媒体の資料だけでなく、電子情報やインターネットを介して利用するデータベースの整備にも力を入れています。学生の皆さんにとって、インターネットは身近で便利な存在となっていますが、それらの情報だけを使って学習することは、本当の学問研究にはなりません。まずは情報を集めるための入り口として、図書館が提供しているデータベースを利用検証してください。

最後に、図書館の利用方法として、ブラウジング（Browsing）をお勧めします。書架の中を図書や雑誌を拾い読みしながら歩くことをブラウジングといいます。ブラウジングには、牛などが気ままに若葉や若芽を食べる、という意味もあり、ぶらぶらと図書館内を歩けば、栄養のある本やおいしい書物を見つけることができるでしょう。ひょっとすると一生生涯付き合えるような本やテーマに出会えるかも知れません。インターネットやブラウジングを入口として、より深い情報や知識への道を図書館がお手伝いします。図書館の資料、設備、機能、職員をフルに活用して実り多い大学生活を送っていくください。豊かな人間形成につながる読書の習慣を大学時代にぜひ身につけてもらえるよう期待します。

本学の就職指導の特色

「キャリア開発」の内容充実

本学では、学生が自分自身のキャリアの第一歩として満足できる道を決めて卒業できるよう、従来の就職ガイダンスに加え、「キャリア開発1」（2年次後期）、「キャリア開発2」（3年次前期）を平成17年度から正課授業として開講しております。開講以来、実際に就職するために必要なカリキュラムとして履修率も約8割ときわめて高く、内容も充実したものとなっています。特にグループワークを多く取り入れた、学生参加型の授業を進めています。これらの資料は、検索のためにすべてデータベース化されていて、学内外のパソコンや携帯電話からの検索や予約処理が可能になっています。

業内容となっており、社会における多様な価値観を知り、視野を広げることで充実した個々の「キャリアプラン」を作れるようサポートしています。

模擬面接で実例アドバイス

毎年2月には就職体験講座（模擬面接）が土、日の2日間開催され、キャリアコンサルタントや就職活動の経験者である先輩が、実例を交えながら社会人マナーや面接時の受け答えなど、適切にアドバイスしてくれます。

また、インターンシップや学外実習は3年次の

夏期休暇を利用し実施され、就業体験を通して、社会人としての心構えや、大学で学んでいるシステムの活用方法の実態などについて体験します。

これら、独自の就職サポートシステムと学内合同企業説明会、資格取得支援体制が相互に結びついた充実の支援体制で、学生の就職をバックアップしています。（就職指導委員長 竹並輝之）

〈3年生ご父母の皆さまへ〉

下記により父母就職説明会を開催いたします。

・7月26日(日)10:15～12:30

・本校(新潟市西区みづき野)

詳細につきましては、ご父母の皆さまにご案内をお送りしますので、是非ともご参加ください。

中田豊久(情報システム学科・講師)

- (2009年2月26日)「プライバシを考慮した距離情報を用いたベッド転落検知システム」日本創造学会、第6回知識創造支援システムシンポジウム(北陸先端科学技術大学院大学)。

3)その他

安藤潤(情報文化学科・准教授)

- ・教科書執筆:(2009年2月)長谷川啓之編著、「政治と経済政策の理論と現実」第1章「経済政策の基本問題」(7-25頁),「第5章 格差問題と政府の役割」(87-111頁),「第7章 グローバル経済における家計経済」(132-154頁),「第8章 少子高齢化と政府の役割」(155-175頁)学文社。

池田嘉郎(情報文化学科・講師)

- ・論著者:(2009年1月31日)地域研究コンソーシアム「ワークショップ」「地域秩序の形成と流動化—中央アジアの『いま』を探る」セッション2「近代化・現代化の潮流と社会変容」(学習院大学)。
- ・コメントーター:(2009年2月21日)都市史研究会ラウンドテーブル「伝統都市の残照—北京の伝統景観と記憶」(東京大学)。
- ・司会(2009年6月14日)日本西洋史学会第59回大会、現代史部会2、高橋沙奈美報告「1960年代以降のロシア・ナショナリズムとA・タルコフスキイの『アンドレイ・ルブリョフ』」(専修大学)。

臼井陽一郎(情報文化学科・教授)

- ・学会パネル・オーガナイザー:(2009年6月27-28日)2009年度日本比較政治学会 分科会「外交と内政」および「Transnational Political Networks in Asian-European Perspectives: A Focus on Political Parties」(京都大学)。

越智敏夫(情報文化学科・教授)

- ・講演:(2009年4月17日)新潟市私立保育園協会研修会「大人」という神話—成長における懷疑の意味」(新潟グランドホテル)。
- ・書評記事執筆:高祖岩三郎「新しいアナキズムの系譜学」河出書房新社2009年5月「共同通信」配信、「新潟日報」ほか全国地方紙掲載。

桑原悟(情報システム学科・教授)

- ・独立行政法人情報処理推進機構(情報処理技術者試験センター)「インターネット順書受付システムのアウトソーシングサービス一般競争入札」提案書審査委員会。

佐々木桐木寛(情報文化学科・准教授)

- ・(2009年5月23-24日)日本経営システム学会、第42回全国研究発表大会(新潟国際情報大学新潟中央キャンパス)実行委員長。

佐々木寛(情報文化学科・教授)

- ・新聞記事執筆:「オバマ政権をどう見るか—『次世代』考える政治」『新潟日報』連載「パークレー便り」①(2009年4月11日朝刊)。
- ・新聞記事執筆:「ワリア解消を生んだもの—闘争、運動が原動力」『新潟日報』連載「パークレー便り」②(2009年5月13日朝刊)。

高橋正樹(情報文化学科・教授)

- ・エッセイ:(2009年1月)「タイの国王と政治」「Frontier ニューズレター」第15号、東洋大学地域研究センター。

竹並輝之(情報システム学科・教授)

- ・燕市情報システム最適化計画等策定業務委託事業プロポーザル審査委員会委員長(2009年5月~6月)。

吉田博(情報システム学科・准教授)

- ・共同研究の推進:新潟市・8大学連携研究事業「地産地消推進のための調査及び実証」「新潟市らしい地産地消の推進に向けて」報告書作成(2009年3月)。
- ・総務省「地域ICT利活用モデル構築事業」の一環「三条市優しいまちなか創造協議会」委員(会長)。

「日本経営システム学会」開く 新潟中央キャンパス

「日本経営システム学会 第42回全国研究発表大会」が、本学の新潟中央キャンパスを会場に、5月23・24日に開催されました。

皆さんもご存じのよう

に、新潟では3年間で、2度の震災、7・13水害、さらには豪雪と、たくさんの自然災害を繰り返し経験してきました。また、自然災害に限らず、世界的な金融危機、経済不況に見舞われている中、これらの「経験」を過去の記憶として追いやるのではなく、「教訓」としていかす努力を日々たくさん企業で

行っています。にもかかわらず、それが十分共有されていないのが現状だと思います。

そこで、ここ新潟の地で行われる学会の場を通じて、さまざまなもので、さまざまな方面にこの「教訓」を発信されればと考え、「経験による地域創造―新潟における教訓と課題―」を統一論題に掲げました。

じて、さまざまな方面にこの「教訓」を発信されればと考え、「経験による地域創造―新潟における教訓と課題―」を統一論題に掲げました。

「新型インフルエンザ」の影響で、同時期の学会が延期や中止を決定する中、感染防止および感染被害の拡大防止のための励行や指導、保健所との連絡体制を確立するなど細心の注意を払つての本学での開催となりました。本学からは平山学長をはじめ、教員2名、学生14名が参加し、県内からは、長岡技術科学大学、事業創造大学院大学、新潟経営大学からご尽力いただきました。この場をおかりしてお礼申し上げます。ありがとうございます。

また、2日間にわたった研究発表は、5会場に分かれ、統一論題3件、一般30件、部会2件、学生22件、合計57件の発表があり、各会場では活発な議論・意見交換が行われました。全国の大学、企業、研究機関などから127人のご参加をいただきました。

57件の研究発表

活発に意見交換



23日の午後

経験による地域創造 —新潟における教訓と課題

2代目会長に竹並教授

本学情報システム学科の竹並輝之教授が、本年5月、情報システム学会の会長に就任されました。初代会長幹事の後を受け、2代目会長としての任に当たられ

ます。情報システム学会は、「学問としてのシステム開発方法論の体系や情報システムの社会的影響などを広範囲にわたって考察することを通して情報システム学を確立し、その成果を社会に発信していくこと」を趣旨と

し、平成17年に設立されました。設立準備には、本学教員も参画し、平成19年11月には、本学の新潟中央キャンパスで第3回全国大会・研究発表大会が開催されるなど、本学ともかかわりの深い学会です。

情報化社会のますますの発展に大きく寄与する学会の会長に、本学教授が就任することは、本学としても大変名誉なことです。

（情報システム学科・准教授 佐々木桐子）

教員の活動（2009年上半年・本人申告による）

1) 研究論文・図書

池田嘉郎（情報文化学科・講師）

- ・(2009)「スターリンのモスクワ改造」「年報都市史研究」16号(36-51頁)。
- ・(2009)「専制、絶力戦と保養地事業―衛生・後送部門最高指揮官オリエンブルグスキー」「ロシア史研究」84号(47-63頁)。

白井陽一郎（情報文化学科・教授）

- ・共著 "East Asian Regionalism from a Legal Perspective: Current features and a vision for the future," London: Routledge, 2009 (Tamio Nakamura ed.)。
- ・(2009)「EUの持続性戦略と欧州統合の行方」「日本EU学会年報」第29号(83-103頁)。

區 建英（情報文化学科・教授）

- ・翻訳(2009)區建英、劉岳兵訳「日本の思想」(丸山真男著)生活・読書・新知 三聯書店(136頁)。

小山田紀子（情報文化学科・教授）

- ・共著(2009)「バルバリア海賊とドンキホーテ」「オスマン帝国とアルジェリア」私市正年編著『アルジェリアを知るための62章』明石書店(77-86頁)。

佐々木 寛（情報文化学科・教授）

- ・翻訳(2009)「戦争と権力―国家、軍事紛争と国際システム」(P. ハースト著)岩波書店(全204頁)。

高橋正樹（情報文化学科・教授）

- ・(2009)「タイの地域主義の歴史的考察―東南アジアの多層的国際秩序研究―」「法學新報」第115卷9-10号(463-496頁)。

中田豊久（情報システム学科・講師）

- ・(2009)「友人ネットワークの状態遷移図による分析」「情報処理学会論文誌 数理モデル化と応用」Vol. 2 No. 1(87-97頁)。

藤瀬武彦（情報システム学科・教授）

- ・(2009)「一般青年男女におけるベンチプレスの1RM相対重量での最高反復回数」「トレーニング科学」第21巻・第2号(225-238頁)。
- 矢口裕子（情報文化学科・准教授）

- ・(2009)「アナイス・ニン『人工の冬』パリ版という旅」「水声通信」第28号 水声社(39-49頁)。

2) 学会・研究会報告

小林元裕（情報文化学科・准教授）

- ・(2009年4月11日)「通州事件再考」中国朝鮮族と回族の民族教育と民族アイデンティティ形成に関する総合的研究(科研費)研究会(敬和学園大学)。
- ・(2009年4月25日)「戦時期華北の日本居留民」脱植民地化の双方向的歴史過程における「植民地責任」の研究(科研費)研究会(東京外国语大学)。

佐々木桐子（情報システム学科・准教授）

- ・(2009年5月30日)「生体認証(バイオメトリックス)に対するユーザ受容性」日本情報経営学会、第58回全国大会(桜美林大学)。

佐々木 寛（情報文化学科・教授）

- ・(2009年5月7日)One More "Security" Problem in Japan : The Largest Nuclear Power Plant and Local Politics, CJS Seminar sponsored by Center for Japanese Study, University of California Berkeley.

高橋正樹（情報文化学科・教授）

- ・(2009年3月21日)「タイの地域主義」国際文化学会と公益学会の共同研究会(法政大学)。

我々の生活にコンピュータ

は欠かせない道具になつきました。情報システムとは、

情報とコンピュータを使った

仕事の仕組みのこと。より役

に立つ、より便利な、より人

にやさしい情報システムとは

どのようなものでしょうか。

家を造るときには設計図を

描きます。住む人は、設計図

により完成したときの家のイ

メージを描くことができ、造

る人は家を造る手順を決める

ことができます。情報システ

ムをつくるときにも、出来上

がつたときのコンピュータを

使った新しい仕事の仕組みが

理解できる設計図が必要にな

ります。

仕事の仕組みを設計図に表

現することをモデリングとい

います。モデリングは、出来

上がった情報システムを使つ

て仕事をする人（経営者や営

業マンや事務員）の要望が、

情報システムをつくる人（シ

ステムエンジニアやプログラ

マー）に伝えられる媒介の役

割を果たします。したがって、

モデリングには情報システム

を使う人とつくる人が協力し

て当たることが不可欠となり

ます。

しかし、家の設計図を描く

のと違つて、情報システムの

仕事をする人（経営者や営

業マンや事務員）の要望が、

情報システムをつくる人（シ

ステムエンジニアやプログラ

マー）に伝えられる媒介の役

割を果たします。したがって、

モデリングには情報システム

つく人の協力のあり方など

を研究しています。

私の研究室では、情報シス

テムをつくる（コンピュータ

を使った仕事の仕組みを分析

し設計する）ことに興味があ

る人と情報システムを使つ

（ビジネスの中で情報シス

テムを経営の視点で活用する）

ことに興味のある人が一緒に

研究しています。情報システ

ムをつくる人は使う人の立場

と仕事内容を、使う人はつく

る人の立場と仕事内容を理解

していないと、協力してよい

モデリングができるからで

す。

私の研究テーマ

情報システムのモデリング

情報システム学科・教授 竹並 輝之

文学とジエンダー学が交差

情報文化学科・准教授 矢口 裕子

私は英語で書かれた文学、これまでのところアメリカで活動した人を中心で研究しています。卒業論文でシヴ・シリーン・フォックスとヨーコ・オノというふたりの女性の詩を探り上げたとき、詩人でもあつた指導教授から「ふたりともフォーリン・ボーン（外国人生まれ）ですね」と言われたことを覚えています。

その後、多少の寄り道を経て大学院で学ぶことになったとき、選んだ作家もやはり外国人、フォックスやオノのようないかなる文学的伝統からもスウェーデンまたは日本か

らアメリカへ渡つたというだけではなく、幼いころから音楽家の父についてヨーロッパを転々とし、両親の離別後、母や弟たちとともに14歳でアメリカに移り住んだ人で、果

たして母国はどこなのか、母語と呼べるものすらはつきりしない、特殊な背景を持つてあります。

その他の女性、アナイス・ニンでした。しかも彼女の場合は、孤独しているとい

う意識を持ち続けたニンは、自分の生のありようを、根を持たずどこにでも花を咲かせるという「生命の植物」に例えました。それは、何ものにも束縛されない夢のような生のユートピアなのか、それともどこにも帰属しうる場所を持たない、狂気と紙一重の存在のありようか。おそらくはその両

仏教に「女三界に家なし」という言葉があります。一方、ブルガリアからフランスに移住した思想家、ジユリア・クリステヴァは、「われわれ」は誰もが「外国人」であり、異質性こそ普遍性に至る道であると主張しました。この世界で外国人であることを宿命づけられた女性たちは、それゆえにこそある鋭利な普遍性に近づきうるのかもしません。そこに、私のなかで文学とジエンダー学が交差する地

入試区分	募集人員	出願期間	試験日	試験地	試験実施教科・科目	合格者発表日	入学手続き期間	
推薦入学試験	情報文化学科 10 情報システム学科 20	30 65	21年11月 2日㈪ 11月10日㈬	新潟	本学が指定校と定めた高校長あてに推薦依頼を行います	21年11月19日㈭	21年11月19日㈭ 12月 3日㈭	
	情報文化学科 30 情報システム学科 35				面接・小論文 学力推薦要件：全體の評定平均値3.8以上またはいずれか1教科の評定平均値が4.5以上であること			
高校長推薦スポーツ	情報文化学科 情報システム学科	若干名	21年11月15日㈰	新潟	面接・小論文 対象種目については、募集要項で確認してください	22年 2月 6日㈯	22年 2月 6日㈯ 2月16日㈭	
	情報文化学科 情報システム学科				面接・小論文			
社会人入学試験	情報文化学科 情報システム学科	若干名	22年 1月 5日㈭ 1月21日㈭	新潟 長岡 上越	・国語：国語総合(現代文)・現代文 ・数学：数学I・数学II（数学IIは、微分・積分を除く。） ・外国語：英語I・英語II 上記3教科の中から2教科を試験場で選択	22年 2月 6日㈯	22年 2月 6日㈯ 2月16日㈭	
	情報文化学科 情報システム学科				学科試験を課さず、平成22年度の大学入試センター試験の成績で判定、全教科の中から2教科2科目選択配点：各教科100点(3科目以上受験した場合は高得点の2教科2科目を合否判定に使用。国語は近代以降の文章のみ利用。外國語(英語)はリスニングを含む。)			
一般入学試験	前 期	95	22年 1月 5日㈭ 1月21日㈭	22年 2月 2日㈭	新潟 長岡 上越	学科試験を課さず、平成22年度の大学入試センター試験の成績で判定、全教科の中から2教科2科目選択配点：各教科100点(3科目以上受験した場合は高得点の2教科2科目を合否判定に使用。国語は近代以降の文章のみ利用。外國語(英語)はリスニングを含む。)	22年 2月 6日㈯	22年 2月20日㈯ 3月 9日㈭
	大学入試センター試験利用							
後 期	情報文化学科 情報システム学科	25	22年 2月15日㈪ 3月 2日㈭	22年 3月 9日㈭	新潟	・国語：国語総合(現代文)・現代文 ・数学：数学I・数学II（数学IIは、微分・積分を除く。） ・外国語：英語I・英語II 上記3教科の中から2教科を試験場で選択	22年 3月12日㈮	22年 3月12日㈮ 3月23日㈭
	情報文化学科 情報システム学科							

本学独自の奨学金制度(給付)

- 学費特別給付奨学金(前期入試受験者対象)授業料全額又は1/2
- 資格取得奨励奨学金(全学年対象)Ⅰ種5万円、Ⅱ種2万円
- 表彰奨学金(2~4年生対象)10万円~30万円
- 海外派遣留学・海外研修奨学金(2年生対象)15万円~23万円

○入試と奨学金の詳細については事務局までお問い合わせください。 TEL025-239-3111 E-mail gakumu@nus.ac.jp

OPEN CAMPUS 2009 オープンキャンパス

2回目 8/9日 3回目 10/4日

- 学部・学科説明
- 入試情報説明
- 入試問題の傾向と対策
- 模擬講義
- コンピュータ実習
- 語学体験
- 個別入試相談
- 就職相談
- 海外留学相談
- 学生との懇談
- 学内見学
- 保護者向けプログラム

高校生はじめどなたでもご参加できます!



AM 10:00~PM 4:00 会場 新潟国際情報大学 本校 新潟市西区みずき野3-1-1 (JR越後赤塚駅下車 徒歩7分)

参加
お申込み 高校の進路指導の先生、もしくは
お問い合わせ 右記までお申込みください。

新潟国際情報大学 広報係

※変更となる場合もありますので事前にご確認ください。
〒950-2292 新潟市西区みずき野3-1-1 TEL.025-239-3111 FAX.025-239-3690 E-mail soudan@nuiis.ac.jp

ドキュメンタリー映画「チョコラ」

本学が制作に協力



ポスター等に使われているスチールでアンドルー君



中央が小林監督、右が松下さん

ドキュメンタリー監督の小林茂さんの新作「チョコラ」は東アフリカ、ケニア共和国の首都ナイロビから北東に車で1時間ほどの街、ティカを舞台にしている。この街のストリート・チルドレンの厳しい生活環境と、彼らを支援しているNGO「モヨ・チルドレン・センター」の日常がユーモアとともに丁寧に描かれている作品である。この制作に本学が協力していることもあり、映画の全国公開に合わせて来日されていたモヨ・チルドレン・センター代表の松下照美さんをお呼びし、小林監督とともに特別講師として「政治学」の講義時にお話を聞いていただいた。

まず、この日のために監督本人が編集された「チョコラ特別版」が

前より制作に協力（映画のタイトルやチラシ等に本学の名前も入っている）して、いた、「チョコラ！」がこのほど、長岡市在住の監督・小

ど完成し、5月に東京・渋谷のユーロスペースや新潟市民映画館「シネ・ウイング」で公開されました。

そこで本学では5月20日、長岡市在住の監督・小林茂さんと、NGO代表・松下照美さんを「政治学」（1年・基礎科目）の特別講師としてお招きし、映画の一部も観賞して「現場の政治学」を学びました。

監督らを招き記念講演会



刺激になった「政治学」特別講義

上映され、そのあと、お二人の充実した講演があった。続いてフロアから多くの質問が出された。撮影ではどのような苦労があったのか、日本舞台にいる。この街のストリート・チルドレンの厳しい生活環境と、彼らを支援しているNGO「モヨ・チルドレン・センター」の日常がユーモアとともに丁寧に描かれている作品である。この制作に本学が協力していることもあり、映画の全国公開に合わせて来日されていたモヨ・チルドレン・センター代表の松下照美さんをお呼びし、小林監督とともに特別講師として「政治学」の講義時にお話を聞いていただいた。

まず、この日のために監督本人が編集された「チョコラ特別版」が

上映され、そのあと、お二人の充実した講演があった。続いてフロアから多くの質問が出された。撮影ではどのような苦労があったのか、日本舞台にいる。この街のストリート・チルドレンの厳しい生活環境と、彼らを支援しているNGO「モヨ・チルドレン・センター」の日常がユーモアとともに丁寧に描かれている作品である。この制作に本学が協力していることもあり、映画の全国公開に合わせて来日されていたモヨ・チルドレン・センター代表の松下照美さんをお呼びし、小林監督とともに特別講師として「政治学」の講義時にお話を聞いていただいた。

まず、この日のために監督本人が

湧源
編集後記に代えて

広報委員長 澤口 晋一

林茂さんと、NGO代表・松下照美さんを「政治学」（1年・基礎科目）の特別講師としてお招きし、映画の一部も観賞して「現場の政治学」を学びました。

6月に入つて県内の各鉄道路線は、さながら大学や専門学校のオープンキャンパスを知らせる広告の展覧会場である。どこの大學生も高校生の目をいかにしてひきつけるか、一枚の広告にさまざまな工夫が凝らされており、眺めるだけでも楽しい。

車両のどこからでも一目でわかるほど学校名が大きく印刷されている広告もあれば、これまで大丈夫かと思わず心配になるほど学校名の小さな広告もある。

何をもって、どう高校生に印象付けるか、それぞれがそれぞれに思案を重ねた結果なのである。そうした中で、昨年個人的に最も印象に残ったのは、明倫短期大学のつり広告であった。大学の学科名やその内容からくるやや硬い印象が、指でハートを形作った女性のクローズアップデザインによって、全く別な方向に一新されたと感じた。一目見て、思わず唸り声をあげてしまつた。秀逸な広告であった。今年最も印象に残るのはどこどのどのようないわゆる「看板」であろうか。楽しみである。

オープンキャンパスに参加された皆さん、あるいは本誌を手に取られている方も、鉄道路線に乗られる機会がありましたら、ぜひ車内に学校広告に注目してみてください。本学でも、今年度から車内広告のイメージを一新させました。さて、みんなならどこの学校の広告にどのような評価をつけるでしょうか。

なお、今年本学ではオープンキャンパスを7月19日、8月9日、10月4日の3回開催します。さまざまな企画・イベントを用意しております。学園祭とは違った意味で大学を知る絶好の機会であります。本学のオープンキャンパスは一般の方にも開放しておりますので、ぜひお気軽においでください。詳細は本学ホームページ等でご確認ください。

あるいは本誌を手に取られている方も、鉄道路線に乗られる機会がありましたら、ぜひ車内に学校広告に注目してみてください。本学でも、今年度から車内広告のイメージを一新させました。さて、みんなならどこの学校の広告にどのような評価をつけるでしょうか。なお、今年本学ではオープンキャンパスを7月19日、8月9日、10月4日の3回開催します。さまざまな企画・イベントを用意しております。学園祭とは違った意味で大学を知る絶好の機会であります。本学のオープンキャンパスは一般の方にも開放しておりますので、ぜひお気軽においでください。詳細は本学ホームページ等でご確認ください。

卒業生の便り

花岡 謝

私は、ピットエイ(株)で「システム構築」を行っています。まだまだ仕事に慣れず、難しい事ばかりです。そんな私が仕事を行う上で気をつけていることは、何を行うにしても「興味を持つ」ことです。

情報システム学科2005年度卒業

どんなに良い「システム」を設計・構築したとしても、使うのは「人間」です。「人間」が使用するときに「どのような事をする」のか、また「他のシステムにどのような事が起きるのか」を予測する影響調査があるのですが、「人間」の行動に興味がないとなかなか難しいものです。

私は、学生時代、接客業やサービス業などのアルバイトを行ってきました。そのときに、学んだ知識が今、人の行動を考える際、非常に

役に立っています。
この原稿の依頼をいただき、振り返って見ると、就職に不安を持っていました3年生のころを思い出します。

私は初めは、接客業かサービス業に就職したいと思っていました。しかし、就職課に相

談した際、「自分のしたい仕事」を探すことも大切だが、「自分のできそうな仕事」という視点も持つてはどうかと言われました。

確かに、就職活動を始める段になつて、「自分やりたい事を探さなければ」と、そのこ

とに一生懸命で、就職活動 자체が行えていませんでした。しかし、この持てる職種が増え、就職活動が進んでいました。

人間の行動を予測し「システム構築」



して本当の意味での「仕事のおもしろさ」、
「仕事の楽しさ」が分かったとは言えない状態ですが、在学生のみなさんは、就職活動を行つに当たつて、自分で自分の幅を狭めず、選択の幅は広く持つください。

また、私の場合は、アルバイトをしていましたところが、就職後も大きな資産となつています。

学業・サークル活動とバランスを取つて共に行つことをお勧めします。

成績優秀、課外活動で活躍

学業成績や課外活動の優秀者に贈る表彰奨学金の授与式が6月17日行われました。

この奨学金制度は、両学科の学年ごとに前年度に取得した科目の成績評価が最も優秀であった者、または課外活動の振興に尽力し優れた業績をあげた功労者に対し、奨学金を授与(給付)するものです。

今年度は学業成績優秀者として15人(情報文化学科6人、情報システム学科9人)に、課外活動功労者としてロシア語スピーチコンテストの優勝者、新潟市内のNPOが主催社長の最越大会に挑戦セヨ!で北信大会優勝した「企業家留学」の優秀賞、また選手権優勝された「女子陸上競技」の3人に授与されました。



15人に表彰奨学金

スポーツ大会を終えて

新企画も登場、親睦深める

情報文化学科2年 鎌田 有紀子

本年度も我が校の伝統行事、開学を記念し平成6年から続いているスポーツ大会が5月21日に行われました。大縄跳び、サッカー、フリースロー、バーボン大会を新企画として発足させました。どの競技も非常に好評で、学生同士の親睦をさらに深めることができます。また、バーボン大会では優勝チームと教職員チームとの交流戦も行われ、大いに盛り上がりいました。準備段階では天候が心配

ごみ分別に感謝 もつと大勢の参加を

考の余地があり、来年への課題をいくつか残すことになりました。

それでも大勢の参加を

新企画も登場、親睦深める

新企画も登場、親睦深める



八ドリーザ

「サービスラーニングと社会貢献」をテーマに



老人ホームでボランティア体験

情報文化学科4年 本田 加南子



外国人のボランティアの皆さんと一緒に

なつてしましました。

今年度は例年と少し違

ふことができました。そして、新

会場ではさまざまなお年寄りと

コミュニケーションをとつてい

くことの大切さをあらためて学

ぶことができました。そして、新

通して、地域全体でお年寄りと

コミュニケーションをとつてい

くことの大切さをあらためて学

ぶことができました。そして、新

潟においても地域が国際化し、

私たち以上に地域を盛り上げよ

うとしている海外の方が多いこ

とを知りました。また、入居し

ているお年寄りの皆さん

になかなか話しかけられ

ずにいる私とは対照的

に、言葉は交わさなくとも、ダンスをしたり、明

るく笑顔で握手をしたり

することでコミュニケーションをはかつて

いた。ハーマニアの方にはハッ

とさせられました。

今後もこのような活動

を通し、地域や異文化に

触れ合いながら、自分に

できるなどを積極的に

行つていただきたいと思つて

います。

そこで不安を抱えつづけ

会当日を迎えたが、大きなミスや事故も無く成功

できたことをとても誇りに

感じております。

スポーツ大会を終えて

情報文化学科2年 鎌田 有紀子

されましたが、皆さんの気持ちが通じたのか当日は素晴らしいスポーツ日和となりました。

例年問題視されていたゴミの分別について

Gregory Hadley ゼミは「サービスラーニングと社会貢献」の学習の一貫で、4年・本田加南子と石津司、3年・二村彩の3人が学生ボランティアとして、燕市にある特別養護老人ホーム「白ふじの里」で「春の元気まつり」に参加しました。それだけカメラ係とライブの呼び込み係を担当しました。

会場ではさまざまなボランティアの方々による屋台やゲームコーナーなどの店が20ほど並び、また「ほっこりライブ」という催しでは、新潟県在住でフィリピンやルーマニア、スリランカ出身の方によるダンスが披露され、お年寄りも子どもも手拍子をして楽しんでいました。

私は、今回のボランティアを

とてもうれしく思います。しかし、参加者が限られていたということと、もつと大勢の学生に参加意欲を持たせることについては再び心配

感してあります。

新潟国際情報大学 学報 国際・情報 平成21年7月発行 2009年度 No.2